

平成 17 年 6 月 10 日

関係各位

シンポジウム「電波科学の歩みと将来展望」開催のご案内

第 19 期電波科学研究連絡委員会

委員長 松本 紘

日本学術会議の改革により、長年活動して参りました電波科学研究連絡委員会は第 19 期を最後として現在の形を変えることとなります。日本学術会議の新体制においても、国際電波科学連合に対応する「対応委員会」が設置されることが検討されておりますが、この学術会議の改革を一つの節目として、これまでの日本における電波科学研究連絡委員会の活動を中心に電波科学の分野が歩んできた道を振り返り、今後の電波科学の更なる発展と 21 世紀社会で果たすべき役割等について検討するシンポジウムを下記に開催いたします。

我々の分野の先達、現役、若手研究者の方々にお集まりいただいて、特に過去の歴史と最新の研究動向についての招待講演と中心に、それらを国内 URSI 委員会の出版物として残してゆく方針ですので、皆様方の御協力を宜しくお願い致します。

シンポジウム「電波科学の歩みと将来展望」

日 時 平成 17 年 7 月 15 日(金)13:30 ~ 平成 17 年 7 月 16 日(土) 16:30

会 場 湯本富士屋ホテル(神奈川県足柄下郡箱根町湯本 256-1)

箱根登山鉄道/小田急電鉄箱根湯本駅下車徒歩 3 分

(外部エレベータで直結しています)

<http://www.fujiyahotel.co.jp/yumotofujiya/>



主 催 学術会議(電波科学研究連絡委員会)

共 催 電子情報通信学会 URSI 日本国内委員会

シンポジウム「電波科学の歩みと将来展望」

プログラム（確定版）

7月15日(金)

- 13:30 - 13:40 開会挨拶 電波科学研究連絡委員会委員長 松本 紘
- 13:40 - 14:05 「時間・周波数標準器の研究開発の小史」中桐紘治（近畿大学）(A)
- 14:05 - 14:30 「標準計測に使用可能な光電界センサ応用アンテナ測定システム」
廣瀬雅信（産総研）A
- 14:30 - 14:55 「地中レーダ・波動情報処理の地雷検知への応用」佐藤源之（東北大）(B)
- (休憩 15分)
- 15:10 - 15:35 「降雨中の電波伝搬と散乱現象」小口知宏（元電波研）(B)
- 15:35 - 16:00 「電波を用いた新しい情報セキュリティ技術」笹岡秀一（同志社大学）(C)
- 16:00 - 16:25 「ベクトルポテンシャルの問題点」黒川兼行（元富士通研究所）(C)
- 16:25 - 16:50 「超高速フォトンクス発展への日本の貢献」
神谷武志（大学評価・学位授与機構）(D)
- 17:00 - 18:00 特別講演「わが国の電波科学研究と URSI」(仮題)
岡村総吾（東大名誉教授,1981 - 1987 Vice President of URSI）

7月16日

- 9:00 - 9:25 「EMCの過去・現在・未来」：佐藤利三郎（東北大名誉教授）(E)
- 9:25 - 9:50 「空電・自然現象の電磁気学」早川正士（電通大）(E)
- 9:50 - 10:15 「マイクロ波リモートセンシング技術の発展とその応用」
古濱洋治（元宇宙航空研究開発機構）(F)
- 10:15 - 10:40 「電波伝搬研究が果たす役割：MIMO を例として」唐沢好男（電気通信大学）(F)
- (休憩 10分)
- 10:50 - 10:15 「MUレーダと電波大気科学研究の歴史と展望」加藤 進（京大名誉教授）(G)
- 11:15 - 11:40 「電離圏研究の歴史と展望」松浦延夫（名大名誉教授）(G)
- 11:40 - 12:05 「電波天文「居住区」」 森本雅樹（国立天文台名誉教授）(J)
- 12:05 - 12:30 「ALMA と電波天文の将来」石黒正人(国立天文台)(J)
- (昼食 60分)

- 13:30 - 13:55 「プラズマと電波科学 - プラズマ中のアンテナ」
安達三郎（東北大名誉教授）(H)
- 13:55 - 14:20 「磁化プラズマ中の電磁波動伝搬特性と磁気圏の探査」
木村磐根（京大名誉教授）(H)
- 14:20 - 14:45 「医工学発展期における電波科学のインパクト」 斉藤正男（東大名誉教授）(K)
- 14:45 - 15:10 「生体磁気研究の展望」 上野照剛（東大・医）(K)
- (休憩 15分)
- 15:25 - 16:25 特別講演「生存圏の開拓と電磁波工学の課題」
松本 紘（京大，Past President of URSI，電波研連委員長）
- 16:25 - 16:30 閉会の挨拶

(注)

(A)～(K)は、URSI の Commission A ～ K に対応する国内の各分科会を表します。